

GPPAC東北アジア 地域行動計画 2006 – 2010

目標1: GPPAC地域提言・世界提言が提起した紛争予防の目標を促進するための連帯行動

1. 朝鮮半島の和解と平和的統一に向けて
 - ① 市民版6者協議
例:
 - ピースボートによる東海(日本海)洋上にて
 - 中国における学界6者協議
 - ② 南北交流支援プロジェクト
 - 相互交流および平和教育のための金剛山ツアープロジェクト
 - ピースボート地球一周クルーズ船上での南北文化イベント
2. グローバル9条キャンペーン
 - 2006年11月3日に日本の平和憲法60周年を記念し9条の保持を求める国際連帯行動を行う
 - 2008年東京にて9条世界会議を開催
3. 東北アジアに非核地帯を設置するためのキャンペーンおよびセミナー
 - 一国非核地帯創設の実現可能性研究
4. 日朝国交正常化に向けて
 - 毎年9月17日に日朝ピョンヤン宣言を記念する世論喚起キャンペーンを展開
 - 金剛山における日朝青年の文化交流プログラム
5. 9月21日、国際平和デー
 - 東北アジア平和構築のための象徴的な共同行動を行い「ピース・デイ」ドキュメンタリー・プロジェクトに参加

目標2: 紛争予防に向けた信頼醸成プラットフォームの強化

1. 歴史認識と過去の克服(歴史教科書、軍事性奴隷、靖国神社問題など)
 - 東北アジア学生・教師フォーラム
 - 3国歴史副教材の東北アジア地域での活用促進
 - これらの課題に関するジャーナリスト、平和活動家、議員のトレーニング・ワークショップ開催
2. 台湾海峡兩岸問題
 - 台湾海峡問題に関する相互理解のための開かれた対話の場の提供
3. クリル諸島／北方領土紛争
 - 領土紛争問題に関するウラジオストック共同研究プログラム
 - 平和公園の設置とエコ・ツーリズムの開発
4. 尖閣諸島／釣魚台諸島紛争
 - 地域の若手外交官による意見交換フォーラムの開催

目標3: 政府への働きかけと紛争予防のための政策および機構の開発

国連への関与

1. 安保理、総会、平和構築委員会
 - 平和構築委員会の監視。とりわけアジアとの関連において
2. ジュネーブ軍縮会議
 - 非核地帯、ミサイル防衛、宇宙の兵器化問題に関する東北アジア共同ペーパーの提出
3. ミレニアム開発目標(MDG)関連プロセス
 - 東北アジアにおいてMDGに関する世論喚起を図る教育活動を展開し、その中に平和教育を組み込む
 - 平和および開発に取り組む市民社会組織が共通の目標のために活動する連携関係を強化する
4. 新国連事務総長の選挙
 - 紛争予防、軍縮、平和に関する取り組みの意志を明らかにするための公開書簡を全候補者に送付する

地域の政府への働きかけ

1. 6者協議政府
 - 「GPPACフレンズ・グループ」および「人間の安全保障ネットワーク」に参加しているこの地域の政府へ働きかけ
2. ASEAN(+3)、APEC、ASEMなど政府間組織への働きかけ努力

目標4: 紛争予防のための地域的能力強化

1. マルチ・ステイクホルダー円卓会議(政府、国連機関、メディア、学術界その他市民社会アクターの参加による)
 - 国連大学(東京)など大学・研究機関でのセミナー開催
2. 東北アジアにおける平和教育の促進
 - 地域平和構築研究所を設置し、平和教育学を地域全体に普及
3. 世界平和フォーラム(2006年6月、バンクーバー)、世界社会フォーラム(2006年10月、バンコク)において東北アジアに関係する紛争予防問題の議論を広める

目標5: 知識の共有と普及

1. 東北アジアにおける紛争予防に関する知見と経験を地域的および国際的に共有するための「東北アジア・オンライン平和フォーラム」を2006年夏に立ち上げる。2006年10月にEシンポジウムを開催する
2. 2006年ないし2007年に非核地帯問題に焦点を当てたGPPAC東北アジア地域会議をウランバートルで開催する